

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

調査対象 小学第5学年、中学第2学年の児童生徒
 調査時期 令和7年4月～7月
 調査校数、児童生徒数 市立小学校6校 390人、市立中学校3校 349人

【体力・運動能力調査の結果】

全国、大阪府、前回の市の結果との比較

※T得点とは全国を50点とし、それと比べたときの得点。

50点より点が高いと、全国を上回ったことになります。

小学校5年		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
		T得点	T得点	T得点	T得点	T得点	T得点	T得点	T得点	T得点
男子	R7府	49.2	49.4	49.7	48.5	49.6	50.3	49.1	49.5	49.2
	R7市	48.0	47.3	46.8	↑ 48.0	49.0	★○ 50.4	48.3	49.0	47.7
	R6市	48.8	48.1	47.0	47.3	50.3	50.6	50.7	49.0	48.3
女子	R7府	49.2	49.5	50.0	48.6	49.0	49.7	48.9	48.6	48.9
	R7市	↑ 48.2	↑ 48.7	↑ 48.7	○↑ 49.9	○ 49.2	★○↑ 50.8	○↑ 49.9	48.2	↑ 48.9
	R6市	47.7	48.1	48.4	46.9	49.2	48.9	49.4	48.7	47.1

中学校2年		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
		T得点	T得点	T得点	T得点	T得点	T得点	T得点	T得点	T得点
男子	R7府	48.6	49.9	48.7	49.6	49.8	49.1	48.9	48.6	48.7
	R7市	○↑ 49.7	★○↑ 50.1	46.8	48.3	48.7	○↑ 49.6	○ 49.0	47.3	↑ 48.6
	R6市	49.3	48.4	47.4	48.9	49.7	47.8	49.0	48.9	47.6
女子	R7府	48.8	49.8	49.4	49.5	49.7	48.7	48.8	48.7	48.9
	R7市	48.0	49.7	○↑ 49.6	49.0	49.2	47.6	48.1	47.5	47.6
	R6市	50.1	51.9	49.3	51.7	52.2	50.2	50.2	50.4	50.9

★:全国(50.0)を上回っている ○:R7大阪府を上回った ↑:前回(R6市)よりも記録が改善

昨年度より改善した種目

- ・小学校→男子は「反復横とび」が改善した。
女子が6種目で改善し、体力合計点も全国値に達した。
- ・中学校→男子は「握力」「上体起こし」「50m」で改善し、体力合計点も改善した。
女子は「長座体前屈」が改善した。

全国平均を上回った種目

- ・小学校→「50m」が男女とも全国と大阪府を上回る。
「50m」の男子は4年連続全国を上回る。
- ・中学校→男子の「上体起こし」が全国と大阪府を上回る。

成果がみられた取組み

- ・各校の「体力づくりアクションプラン」に沿って組織的、計画的に行う体力向上の取組み
- ・単元計画を示し、具体的な目標を立てて主体的に取り組む授業
- ・「やってみよう」、「できて嬉しい」と感じる子どもへの声かけ（ポジティブ行動支援）
- ・ICTを活用した授業
- ・「なわとびカード」、「マラソンカード」等を活用し、主体的に継続して運動に取り組む工夫
- ・休み時間の「運動教室」の実施（鉄棒教室、跳び箱教室等）
- ・体育専科（小学校で体育を専門的に指導する教員）を活用し、学校全体で系統的に体力向上に取り組む学校体制
- ・体力・運動能力調査の測定方法の掲示、正しい測定方法での体力調査の実施

【運動習慣等調査（運動習慣、生活習慣等に関するもの）の結果】

Q1 運動は好きですか。肯定的回答（単位％）

Q1	小学校（男子）	小学校（女子）	中学校（男子）	中学校（女子）
R7全国	93.4	85.8	91.1	77.3
R7市	91.6	86.0	89.5	76.4
R6市	91.7	81.5	88.7	79.0

全国との比較→小学校女子のみ全国を上回る。
 昨年度との比較→
 小学校女子と中学校男子が昨年度を上回る。

Q9 体育の授業は楽しいですか。肯定的回答（単位％）

Q9	小学校（男子）	小学校（女子）	中学校（男子）	中学校（女子）
R7全国	94.6	88.1	93.2	84.2
R7市	93.7	87.0	91.0	74.0
R6市	91.1	87.2	93.2	85.6

全国との比較→いずれも全国を下回る。
 昨年度との比較→
 小学校男子のみ昨年度を上回る。

Q5 体育の授業以外の運動やスポーツの時間（単位 分/週）

Q5	小学校（男子）	小学校（女子）	中学校（男子）	中学校（女子）
R7全国	524.1	315.8	758.5	520.3
R7市	506.1	310.4	725.0	510.2
R6市	578.2	396.0	802.9	658.0

全国との比較→いずれも全国を下回る。
 昨年度との比較→いずれも昨年度を下回る。

Q6 朝食を毎日食べますか。（単位％）

Q6	小学校（男子）	小学校（女子）	中学校（男子）	中学校（女子）
R7全国	82.5	80.4	81.9	74.4
R7市	76.9	78.5	71.6	63.9
R6市	75.5	71.6	75.3	76.1

全国との比較→いずれも全国を下回る。
 昨年度との比較→
 小学校男子と女子が昨年度を上回る。

Q15 体力・運動能力向上の目標を立てていますか。（単位％）

Q15	小学校（男子）	小学校（女子）	中学校（男子）	中学校（女子）
R7全国	76.5	71.3	75.0	67.7
R7市	69.9	67.2	77.2	60.9
R6市	78.6	73.0	76.7	76.1

全国との比較→中学校男子のみ全国を上回る。
 昨年度との比較→
 中学校男子のみ昨年度を上回る。

Q14 体力の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」すること（いつもある、だいたいあるの合計）（単位％）

Q14	小学校（男子）	小学校（女子）	中学校（男子）	中学校（女子）
R7全国	62.6	60.2	70.5	64.7
R7市	65.9	62.8	76.2	67.3
R6市	53	62.5	88.2	82.4

全国との比較→いずれもを上回る。
 昨年度との比較→
 小学校男子のみ昨年度を上回る。

運動習慣等結果から言えること

授業では、運動の大切さを伝え、目標を立てて、子どもが主体的に取り組む授業を行うとともに、「楽しい授業」を意識して、内容や声掛けや評価の仕方を工夫するようにしていくことが大切です。また、ICT等を使って、子どもが「わかった」と感じる授業を工夫することもあります。授業以外では、遊びや行事等に運動を取り入れ、「運動が好き」になる機会を作るとともに、保健だより等で、「毎日、朝食を食べる」といった健康的な生活を送ることが体力向上につながることを伝えていくことも大切です。

全体を通して

児童質問紙の「どんなときに体育の授業が楽しいと感じますか」の質問において、「できなかったことができるようになったとき」と答えた割合は男子 89.6%（全国 82.6%）、女子 82.3%（全国 81.6%）でした。

各校では、ポジティブ行動支援（PBS）で子どもの意欲を引き出しながら、「体力づくりアクションプラン」を基に児童生徒の体力向上に取り組めます。授業では、目標を意識して主体的に体力向上に取り組む子どもの育成をめざし、「できなかったことができるようになる」経験ができる授業を工夫します。また、体育大会等の生徒会行事や、なわとび集会等の児童委員会活動を活用して、日常的に体を動かし、運動が楽しいと思う児童生徒を増やす取り組みを行っていきます。